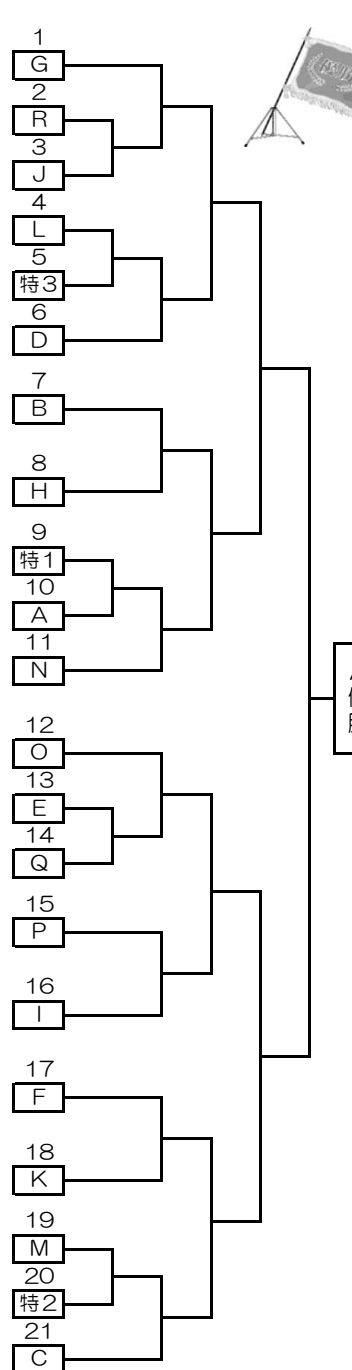


Aの部 【予選ブロック】 54 → 21【 決勝トーナメント 】

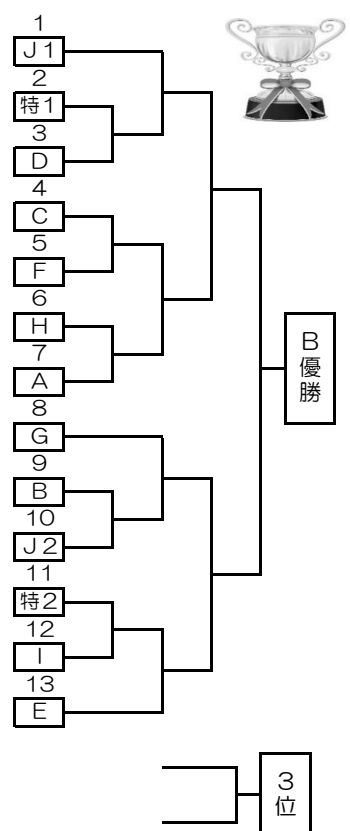
Bの部 【予選ブロック】 31 → 13【 決勝トーナメント 】

城陽S・城陽V連合	a	1	A
飛翔・ワリアーズ亀岡連合	b	2	A
嵯峨野シルバー	c	3	A
美河スポーツ少年団	a	4	B
東寺ベースボール	b	5	B
巨椋・久御山B・南部・西小倉連合	c	6	B
羽東師ラビット	a	7	C
京都チャンピオンズ	b	8	C
上牧ブレイブス	c	9	C
岡屋スポーツ少年団	a	10	D
向日市野球SP少年団	b	11	D
七条ファミリーズ	c	12	D
亀岡リトルイースタン	a	13	E
遷喬ジャガーズ	b	14	E
昴・SBC連合	c	15	E
吉祥院ユニオンズ	a	16	F
久御山ライオンズ	b	17	F
西陣中央スポーツ少年団	c	18	F
向島シャークス	a	19	G
長岡京東クラブ	b	20	G
上鳥羽友愛ジュニア	c	21	G
御蔵山スポーツ少年団	a	22	H
長岡京スラッガーズ	b	23	H
大宅アトムズ	c	24	H
向日ボイズ	a	25	I
紫クラブ	b	26	I
洛東ベースボールクラブ	c	27	I
神明スポーツ少年団	a	28	J
金閣リトルタイガース	b	29	J
南城陽・城陽L連合	c	30	J
深草中村メッツ	a	31	K
修斉野球クラブ	b	32	K
向日レジェンド	c	33	K
小倉リトルズ	a	34	L
長岡京サンダース	b	35	L
西城陽MVクラブ	c	36	L
小向山少年野球倶楽部	a	37	M
向日ウイングス	b	38	M
下京JUクラブ	c	39	M
横島スラッガーズ	a	40	N
横大路スターズ	b	41	N
大枝イーグルス	c	42	N
凌風フェニックス	a	43	O
広野ジュニアーズ	b	44	O
長岡京BB野球SP少年団	c	45	O
修道スポーツ少年団	a	46	P
北城陽クラブ	b	47	P
オール千代川少年野球クラブ	c	48	P
壬生ライガー・高倉クラブ連合	a	49	Q
大山崎SP少年団野球クラブ	b	50	Q
宇治コンドルSP少年団	c	51	Q
桂友クラブ	a	52	R
大開サンクラブジュニア	b	53	R
山科クラブ	c	54	R



3位

深草ピクトリース	a	1	A
西城陽MVクラブ	b	2	A
吉祥院ユニオンズ	c	3	A
市原野イーグルス	a	4	B
岡屋スポーツ少年団	b	5	B
山科クラブ	c	6	B
向島ベースボール	a	7	C
修道スポーツ少年団	b	8	C
広野ジュニアーズ	c	9	C
向日レジェンド	a	10	D
久御山ライオンズ	b	11	D
上高野スポーツ少年団	c	12	D
御蔵山スポーツ少年団	a	13	E
神川スポーツ少年団	b	14	E
桂東体振ライオンズ	c	15	E
羽東師ラビット	a	16	F
洛東ベースボールクラブ	b	17	F
長岡京スラッガーズ	c	18	F
朱雀ブルーボーイズ	a	19	G
宇治コンドルSP少年団	b	20	G
七条ファミリーズ	c	21	G
桃南クラブ	a	22	H
東寺ベースボール	b	23	H
大宮ジュニア	c	24	H
長岡京BB野球SP少年団	a	25	I
横大路スターズ	b	26	I
大枝イーグルス	c	27	I
下京JUクラブ	a	28	J
小倉リトルズ	b	29	J
長岡京フェニックス	c	30	J
京都チャンピオンズ	d	31	J

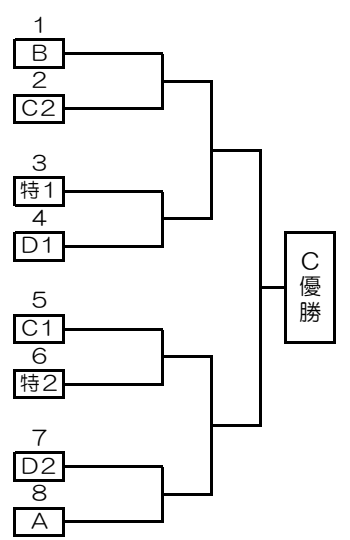


B 優勝

3位

Cの部 【予選ブロック】 14 → 8【 決勝トーナメント 】

桂東体振ライオンズ	a	1	A
広野ジュニアーズ	b	2	A
朱雀ブルーボーイズ	c	3	A
亀岡リトルイースタン	a	4	B
羽東師ラビット	b	5	B
小倉リトルズ	c	6	B
西城陽MVクラブ	a	7	C
七条ファミリーズ	b	8	C
桃南クラブ	c	9	C
遷喬ジャガーズ	d	10	D
桂友クラブ	a	11	D
城陽S・城陽V連合	b	12	D
長岡京サンダース	c	13	D
宇治コンドルSP少年団	d	14	D



C 優勝

3位

- ①、ブロック数は、大会本部で設定
- ②、予選ブロック対戦方法  
\*各ブロックの枠番号の若い方から a、b、c、d、e、とする  
(1)、3チームの対戦組合せ ab、bc、ca  
(2)、4チームの対戦組合せ ab、ad、bc、cd  
(3)、5チームの対戦組合せ ab、ad、be、cd、ce
- ③、試合数は、ブロック内で各チーム 2試合行う
- ④、予選リーグの勝ち点数 (1試合)  
(1)、勝ち 3点  
(2)、引き分け 1点  
(3)、負け 0点

- ⑤、決勝トーナメント進出順位 (2試合計)  
(1)、勝ち点数の多い順  
勝ち点数が同数の場合は、以下の規定で順位を決定する。  
(2)、失点の少ない順  
(3)、得点の多い順  
(4)、直接対戦で勝った方  
(5)、抽選 (本部)
- ⑥、決勝トーナメント枠入り順  
(1)、Aは、Aブロックの1位  
(2)、R1は、Rブロックの1位  
(3)、R2は、Rブロックの2位のチームがそれに入る  
他ブロックも同様とする

- ⑦、決勝枠へ進出 チーム数  
⑤項の決勝トーナメント進出順位に従い  
(1)、3チームブロック  
・上位1チームが入る  
(2)、4、5チームブロック  
・上位2チームが入る  
(3)、特別選抜 (特選) 枠  
⑦項の (1)、(2) 以外で各ABC部門別で成績の上位から指定枠数  
・上位1~3チームを大会の都度設定する。  
☆今大会は、Aの部3枠、Bの部2枠、Cの部2枠を設定する。

※ 勝っているチームの裏の攻撃中に、時間切れて終了した場合の得点は、認め表示します。

\*Cの部特別ルール\*

- ①、本塁投手間14m
- ②、塁間21m
- ③、時間70分、5回
- ④、3回15点、4回10点差コールド
- ⑤、投手投球制限 1日60球